

マリンレジャー安全レポート

第26号(平成19年9月)

第七管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室
TEL 093-321-2931
E-mail:kyuunan-7@kaiho.mlit.go.jp



航行中、遊漁、操業中を問わず、的確な見張りをしましょう。

8月13日0630頃、大分県別府湾沖で漁船A丸(約1ト、2名乗)が漂泊し揚網中のところ、漁場向け航行中の遊漁船B丸(約14ト、11名乗)が見張り不十分のため、遊漁船B丸の船首部と漁船A丸の船尾部が衝突し、漁船は転覆、乗員2名が海に投げ出されました。幸いにも、乗員2名は遊漁船に直ちに救助され、船長が打撲を負ったものの、命に別状はありませんでした。漁船はその後、僚船に曳航されていましたが、沈没しています。

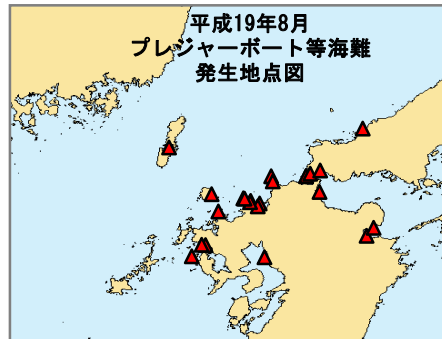
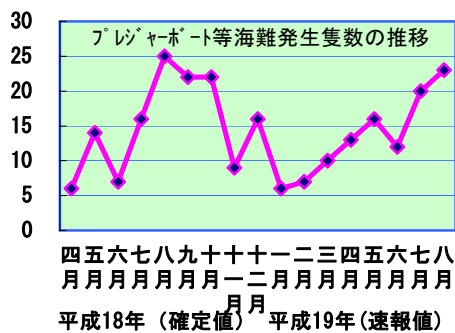
平成19年8月
プレジャーボート等
海難発生隻数

合計	23隻
衝突	6
乗揚	5
転覆	0
浸水	1
推進器障害	3
舵障害	0
機関故障	7
火災	1
爆発	0
行方不明	0
運航障害	0
安全障害	0
その他	0



～事故からの教訓～

すべての船舶は、視界の良否にかかわらず、また航行、漂泊の別を問わず、常時周囲の状況及び他の船舶との衝突のおそれについて十分に判断することができるように、視覚、聴覚及びその時の状況に適した双眼鏡、レーダー等のすべての手段を活用した適切な見張りをしなければなりません。



小型船舶の機関取扱い～シリーズ

機関の故障や整備不良による海難が急増!

Q8 ?これってボロボロだけど…何?



使用前
(プロペラの上)



使用后



使用后
(ブラケットの下)

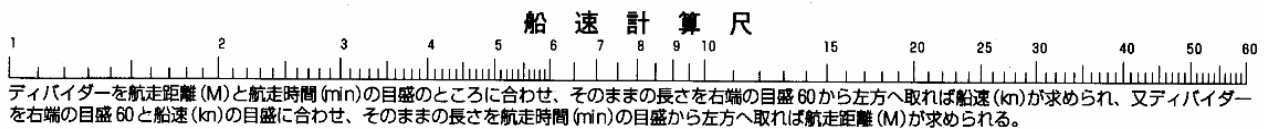
エンジンの腐食を防止する大事な部品で、アノード(防食亜鉛)といえます。アノードの役目は、自らを減らすことにより腐食から船外機を保護するためのものです。アノードはエンジン内部にもあります。(詳しくは取扱説明書をご覧ください)



アノードは減っていないなくても100時間又は6か月で必ず点検し不良な場合は交換しましょう。

船速計算尺!

海図の欄外記事には、「距離尺」と「船速計算尺」というものがあります。「距離尺」は海図上の距離を示すものでメートルやキロメートルで表されています。7月号で紹介した「フレジャーボート・小型船用港湾案内」にも「距離尺」は掲載されていますが、「船速計算尺」はありません。耳慣れない用語ですが、使い方にコツがあるものの、便利なので紹介します。



「船速計算尺」(Logarithmic Speed Scale)の使い方

縮尺1/1万から1/20万までの「航海用海図」の欄外に記載されています。この計算尺の目盛は、距離、時間及び速度を表すもので、目盛の読み方により、そのいずれかを求めることができます。

(1) 距離、時間から速度を求める場合

15分間に4海里(マイル)航走した場合の速度は、ディバイダーを目盛の4と15に合わせ、その長さを右端の目盛60から左方へ取り、そのときのディバイダーの左先の数値を読めば求められる。(速力16ノット)

(2) 速度、時間から距離を求める場合

20ノットの速度の船が15分間航走した場合の距離は、ディバイダーを目盛の60と20に合わせ、その長さを目盛15から左方へ取り、そのときのディバイダーの左先の数値を読めば求められる。(距離5海里)

(3) 速度、距離から時間を求める場合

15ノットの速度の船が30海里航走した場合の時間は、ディバイダーを目盛の15と30に合わせ、その長さを左端の目盛1から右方へ取り、そのときのディバイダーの右先の数値を読めば求められる(時間2時間)

http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TIDE/real_time_tide/html/kck_main.htm

ちよつと一息

睡眠時無呼吸症候群(SAS)について

第七管区海上保安本部では、9月上旬の一週間、九州運輸局等関係機関と連携し、内航貨物船等を対象に「居眠り運航撲滅キャンペーン」を実施しました。フレジャーボート海難の原因にはほとんど出てきませんが、乗揚げ事故原因の約1/4が居眠りによるもので、居眠りに陥る原因のひとつに睡眠時無呼吸症候群が挙げられます。

日本では、2003年の新幹線のオーバーラン事故で注目されるようになりましたが、アメリカでは、アラスカにおける原油タンカー「エクソンバルティース号」の座礁油流出事故や、スペースシャトルチャレンジャー事故、スリーマイル原発事故も、この病気による居眠りが原因と指摘されています。

[睡眠時、呼吸が止まる。][大きないびきをかく。][朝、頭痛がする。][日中、強い眠気を感じる。]

などの症状があり、自己判断テスト(ESSテスト)の判定で、病的な原因が考えられると判定された場合は、その原因のひとつに睡眠時無呼吸症候群の可能性がります。

自己判断テストの内容は(社)全日本トラック協会等のホームページに掲載されているほか、各海上保安部署にも配布されています。

上記症状に心当たりがある方は、一度自己判断テストをしてみたらいかがでしょうか。